

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 DIC株式会社

コード番号 4631 URL <http://www.dic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 杉江 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 二宮 啓之

TEL 03-3272-4511

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	587,606	4.9	32,092	86.2	28,549	164.0	16,637	484.0
22年3月期第3四半期	559,962	△25.5	17,236	△18.2	10,813	△31.2	2,849	△69.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	18.72	—
22年3月期第3四半期	3.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	756,597	135,930	15.0	123.65
22年3月期	749,866	122,829	13.5	127.72

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 113,448百万円 22年3月期 101,034百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
23年3月期	—	2.00	—		
23年3月期 (予想)				2.00	4.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	2.9	38,000	36.6	33,000	72.9	18,000	608.7	20.10

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 919,372,048株 22年3月期 792,872,048株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,854,642株 22年3月期 1,814,322株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 888,514,073株 22年3月期3Q 791,083,816株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績 .....	1
(1) 当第3四半期(3か月)の業績全般の概況 .....	1
(2) 当第3四半期(3か月)のセグメント別業績 .....	1
(3) 当第3四半期連結累計期間の業績 .....	4
(4) 2010年度通期業績予想 .....	4
2. 財政状態 .....	5
3. その他の情報 .....	6
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	6
4. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書 .....	9
(第3四半期連結累計期間) .....	9
(第3四半期) .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
(5) セグメント情報 .....	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	15

## 1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第3四半期（3か月）の状況に関しては、海外子会社は平成22年7月～9月期、国内会社は平成22年10月～12月期について各々記載しています。

## (1) 当第3四半期（3か月）の業績全般の概況

当第3四半期の当社グループを取り巻く事業環境は、国内の補助金制度の終了・縮小の影響はあったものの、全般的には国内外とも緩やかな回復傾向が継続しました。

このような事業環境の中、当第3四半期の売上高は、国内印刷インキの需要が低迷したものの、中国を中心としたアジア地域の旺盛な需要などに支えられ、為替影響排除後では前年同期比3.1%の増収となりましたが、円高の影響により、1,945億円と同2.8%の減収となりました。

営業利益は、合理化効果や品目構成の改善などにより、113億円と前年同期比18.3%の増益となりました。

	当第3四半期 実績（3か月）	前第3四半期 実績（3か月）	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	1,945億円	2,001億円	△2.8%	+3.1%
営業利益	113	95	+18.3%	+22.9%
経常利益	96	78	+22.7%	--
四半期純利益	44	23	+92.8%	--

## (2) 当第3四半期（3か月）のセグメント別業績

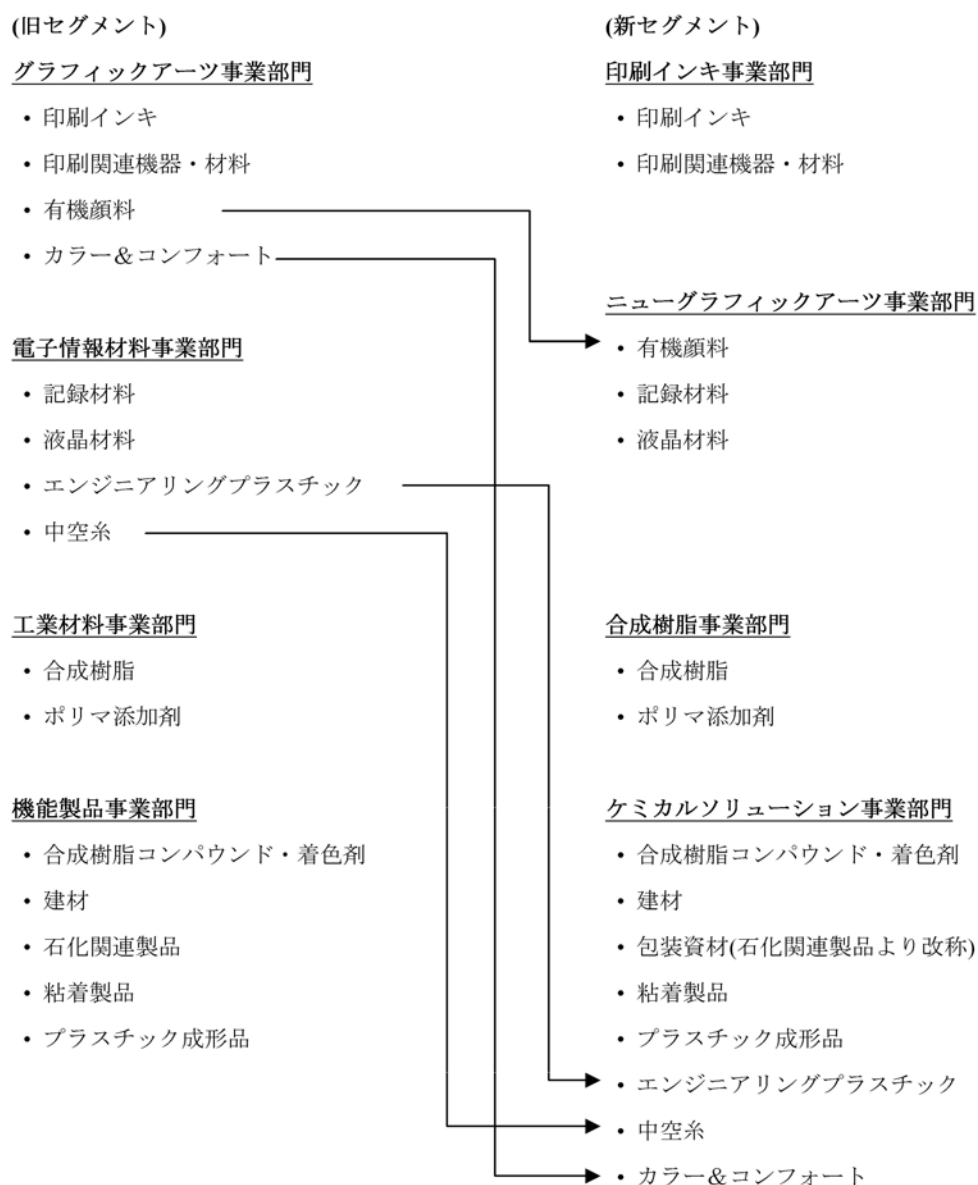
(単位：億円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	当第3 四半期 実績 (3か月)	前第3 四半期 実績 (3か月)	前年同期比		当第3 四半期 実績 (3か月)	前第3 四半期 実績 (3か月)	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印 刷 イ ン キ	1,001	1,126	△11.1%	△3.0%	41	43	△4.0%	+4.0%
ニューグラフィック アーツ	271	257	+5.5%	+13.0%	20	4	4.5倍	4.3倍
合 成 樹 脂	402	375	+7.1%	+9.1%	43	40	+6.0%	+6.8%
ケミカルソリューション	382	365	+4.7%	+5.4%	19	20	△6.7%	△6.5%
そ の 他	7	7	△1.1%	△0.4%	1	△1	黒字化	黒字化
消去又は全社	△118	△130	----	----	△11	△11	----	----
計	1,945	2,001	△2.8%	+3.1%	113	95	+18.3%	+22.9%

当社は、基礎素材とコア技術を基盤として、事業を社会変化に対応して成長させることを目的に、平成22年4月1日付にて、上記のとおり、事業セグメントを改編いたしました。改編の内容についての詳細は次ページをご参照下さい。

なお、前年同期の数値については、変更後の区分に組み替えて記載しております。

## 【新旧セグメントの対照表】



この改編は、中期経営計画「DIC102」の基本方針である「点から面へ」の展開（製品ごとの事業運営から、全社としてのシナジーを活かし総合力を発揮する事業運営への転換）や、当社経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」（化学で彩りと快適を提案する）の実現に向けた具体的な施策の一環です。

各事業部門の業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキ事業部門の業績には事業部門内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ事業部門]

・日本	売上高：	253億円	前年同期比	△14.2%
	営業利益：	11億円	前年同期比	△22.7%

出版・チラシ関連の需要の減少および新聞の発行部数やページ数の減少などの影響を受け、オフセットインキと新聞インキは苦戦しました。グラビアインキは飲料・食品包装材関連の需要が堅調に推移しましたが、たばこ税の増税により、たばこ包装向けが大幅に減少したことなどから、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や原材料価格の高騰の影響などにより、減益となりました。

・米州・欧州	売上高：	619億円	前年同期比	△12.5% (△0.1%)
	営業利益：	14億円	前年同期比	△18.1% (△1.3%)

北米においてチラシやカタログ関連、パッケージ用インキが好調に推移しましたが、欧州において新聞や雑誌の発行部数の減少などの影響により苦戦しました。中南米においては、主力のパッケージ用インキを中心に、全ての品目において需要が伸長し、増収となりました。以上の結果、現地通貨ベースでは前年同期並の水準となりましたが、円高の影響により減収となりました。

営業利益は、原材料価格の高騰による影響を合理化効果でカバーし、現地通貨ベースではほぼ前年並となりましたが、円高の影響により減益となりました。

・アジア・オセアニア	売上高：	169億円	前年同期比	+18.3% (+23.4%)
	営業利益：	17億円	前年同期比	+21.3% (+25.8%)

中国では、輸出産業向けのグラビアインキや新聞インキが、また東南アジアでは、オフセットインキやグラビアインキが堅調で、増収となりました。オセアニアでは、グラビアインキが好調でしたが、オフセットインキの苦戦により減収となりました。インドでは、新聞インキが大きく伸長したほか、オフセットインキとグラビアインキも好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては前年同期比で増収となりました。

営業利益は、主に増収効果により増益となりました。

[ニューグラフィックアーツ事業部門]

	売上高：	271億円	前年同期比	+5.5% (+13.0%)
	営業利益：	20億円	前年同期比	4.5倍 (4.3倍)

有機顔料は、カラーフィルタ用をはじめとして、プラスチック用などが好調に推移し、国内外とも増収となりました。また、インクジェットインキも好調に推移しました。競争激化により苦戦を強いられてきたTFT液晶は、液晶テレビ用の大手ユーザー向け出荷が急速に拡大し、増収となりました。一方、DVD向けの需要の減退の影響を受けた光ディスク用保護コート剤は減収となりました。

営業利益は、上記の増収効果や品目構成の改善などにより、増益となりました。

## [合成樹脂事業部門]

売上高： 402億円 前年同期比 +7.1% (+9.1%)  
 営業利益： 43億円 前年同期比 +6.0% (+6.8%)

国内需要は、自動車関連などの分野で減速傾向となりましたが、中国を中心としたアジア地域における電気・電子関連の需要増大などにより、塗料用樹脂、ウレタン樹脂、改質剤などの品目において増収となりました。一方、エポキシ樹脂は、積層板や封止材向けの需要が低迷したことにより減収となりましたが、全体としては前年同期比で増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善や増収効果などにより、増益となりました。

## [ケミカルソリューション事業部門]

売上高： 382億円 前年同期比 +4.7% (+5.4%)  
 営業利益： 19億円 前年同期比 △6.7% (△6.5%)

PPSコンパウンドが、輸出向けの自動車部品や住設関連の需要拡大により増収となったほか、中国を中心としたアジア地域の需要拡大などにより、機能性光学材料や工業用粘着テープが増収となりました。また、住設関連の需要が好調に推移した樹脂着色剤、軽量容器を中心に伸長したポリスチレンが各々増収となりました。

営業利益は、増収の効果はあったものの、原材料価格の値上がりなどの影響を受け、減益となりました。

なお、平成23年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信（平成22年8月6日開示）及び平成23年3月期第2四半期決算短信（平成22年11月8日開示）をご参照ください。

## (3) 当第3四半期連結累計期間の業績

	当第3四半期 実績(累計)	前第3四半期 実績(累計)	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	5,876億円	5,600億円	+4.9%	+7.8%
営業利益	321	172	+86.2%	+85.4%
経常利益	285	108	2.6倍	--
四半期純利益	166	28	5.8倍	--

## (4) 2010年度通期業績予想

	通期予想 ※	前期実績	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	7,800億円	7,578億円	+2.9%	+6.7%
営業利益	380	278	+36.6%	+41.2%
経常利益	330	191	+72.9%	--
当期純利益	180	25	7.1倍	--

※ 前回予想（平成22年11月8日開示）と変更ありません。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の資産の部は、前期末と比べて67億円増の7,566億円となりました。為替レート変動の影響により資産が減少した一方、債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したことによるものです。負債の部は、有利子負債が増加した一方、為替レート変動の影響により減少し、前期末比64億円減の6,207億円となりました。また、純資産の部は、増資等により前期末比131億円増の1,359億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

[営業活動によるキャッシュ・フロー] 当第3四半期 △261億円 (前第3四半期 △259億円)

当第3四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益が259億円、減価償却費が245億円となりました。一方で、運転資本の増加により660億円の資金を使用し、法人税等に91億円を支払いました。以上の結果、営業活動に使用した資金の総額は261億円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー] 当第3四半期 △117億円 (前第3四半期 △145億円)

当第3四半期連結累計期間は、設備投資に148億円の資金を使用した一方で、長期未収金の回収により45億円の資金を取得しました。以上の結果、投資活動に使用した資金の総額は117億円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー] 当第3四半期 274億円 (前第3四半期 507億円)

当第3四半期連結累計期間は、株式の発行により175億円、借入金により140億円の資金を調達した一方で、剰余金の配当として34億円を支払いました。以上の結果、財務活動により得られた資金の総額は274億円となりました。



### 3. その他の情報

#### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

##### 1. 簡便な会計処理

採用した簡便な処理のうち、重要なものはありません。

##### 2. 特有の会計処理

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

##### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

- ① 第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ10百万円、税金等調整前四半期純利益が702百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は757百万円であります。

- ② 第1四半期より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

##### 2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期末 (22.12.31)	前期末に係る 要約連結貸借対照表 (22.3.31)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,083	29,549
受取手形及び売掛金	232,100	182,053
商品及び製品	66,148	71,631
仕掛品	8,966	9,225
原材料及び貯蔵品	50,479	43,063
その他	28,420	34,905
貸倒引当金	△8,836	△8,668
流動資産合計	397,360	361,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,327	97,874
機械装置及び運搬具(純額)	69,277	78,593
工具、器具及び備品(純額)	8,133	9,254
土地	58,020	59,828
建設仮勘定	5,171	6,848
有形固定資産合計	230,928	252,397
無形固定資産		
のれん	2,016	1,704
その他	11,242	12,177
無形固定資産合計	13,258	13,881
投資その他の資産		
投資有価証券	31,215	30,404
その他	84,358	92,078
貸倒引当金	△522	△652
投資その他の資産合計	115,051	121,830
固定資産合計	359,237	388,108
資産合計	756,597	749,866

(単位：百万円)

	当第3四半期末 (22.12.31)	前期末に係る 要約連結貸借対照表 (22.3.31)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,730	121,661
短期借入金	80,369	51,593
コマーシャル・ペーパー	31,000	200
1年内償還予定の社債	5,000	25,000
未払法人税等	4,527	4,267
賞与引当金	3,404	2,911
その他	58,730	65,349
流動負債合計	301,760	270,981
固定負債		
社債	41,000	41,000
長期借入金	228,251	258,889
退職給付引当金	24,416	29,391
製品補償損失引当金	—	1,000
資産除去債務	1,055	—
その他	24,185	25,776
固定負債合計	318,907	356,056
負債合計	620,667	627,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	82,423
資本剰余金	88,758	80,027
利益剰余金	40,351	27,131
自己株式	△655	△648
株主資本合計	219,608	188,933
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111	278
繰延ヘッジ損益	△444	△217
年金負債調整額	△19,687	△22,036
為替換算調整勘定	△86,140	△65,924
評価・換算差額等合計	△106,160	△87,899
少数株主持分	22,482	21,795
純資産合計	135,930	122,829
負債純資産合計	756,597	749,866

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (21.4.1~21.12.31)	当第3四半期連結累計期間 (22.4.1~22.12.31)
売上高	559,962	587,606
売上原価	447,330	462,273
売上総利益	112,632	125,333
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	33,032	30,485
貸倒引当金繰入額	721	1,048
賞与引当金繰入額	1,111	1,222
退職給付費用	5,655	3,659
その他	54,877	56,827
販売費及び一般管理費合計	95,396	93,241
営業利益	17,236	32,092
営業外収益		
受取利息	1,059	887
受取配当金	133	155
持分法による投資利益	1,793	1,538
その他	1,826	1,842
営業外収益合計	4,811	4,422
営業外費用		
支払利息	5,781	5,272
為替差損	1,563	83
その他	3,890	2,610
営業外費用合計	11,234	7,965
経常利益	10,813	28,549
特別利益		
受取保険金	—	990
事業譲渡益	—	605
固定資産売却益	221	—
特別利益合計	221	1,595
特別損失		
固定資産処分損	1,547	2,443
リストラ関連退職損失	1,851	925
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	692
減損損失	—	174
関係会社整理損	153	—
特別損失合計	3,551	4,234
税金等調整前四半期純利益	7,483	25,910
法人税等	3,441	7,457
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,453
少数株主利益	1,193	1,816
四半期純利益	2,849	16,637

(第3四半期)

(単位：百万円)

	前第3四半期 (21. 10. 1～21. 12. 31)	当第3四半期 (22. 10. 1～22. 12. 31)
売上高	200,101	194,533
売上原価	157,591	153,386
売上総利益	42,510	41,147
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	11,333	9,698
貸倒引当金繰入額	175	262
賞与引当金繰入額	1,041	1,142
退職給付費用	1,854	1,222
その他	18,570	17,541
販売費及び一般管理費合計	32,973	29,865
営業利益	9,537	11,282
営業外収益		
受取利息	371	335
受取配当金	18	20
持分法による投資利益	701	527
その他	768	407
営業外収益合計	1,858	1,289
営業外費用		
支払利息	1,867	1,758
為替差損	235	693
その他	1,461	507
営業外費用合計	3,563	2,958
経常利益	7,832	9,613
特別利益		
受取保険金	—	990
固定資産売却益	221	—
特別利益合計	221	990
特別損失		
固定資産処分損	755	895
リストラ関連退職損失	444	600
減損損失	—	174
関係会社整理損	153	—
特別損失合計	1,352	1,669
税金等調整前四半期純利益	6,701	8,934
法人税等	3,679	3,943
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,991
少数株主利益	737	585
四半期純利益	2,285	4,406

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 12. 31)	当第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,483	25,910
減価償却費	26,987	24,492
減損損失	—	174
のれん償却額	521	436
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,481	815
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,957	493
受取利息及び受取配当金	△1,192	△1,042
持分法による投資損益 (△は益)	△1,793	△1,538
支払利息	5,781	5,272
固定資産除売却損益 (△は益)	1,326	2,443
関係会社整理損	153	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	692
事業譲渡損益 (△は益)	—	△605
売上債権の増減額 (△は増加)	△71,684	△59,018
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,069	△9,302
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,793	2,286
その他	△7,649	△4,136
小計	△13,767	△12,628
利息及び配当金の受取額	1,437	882
利息の支払額	△5,895	△5,228
法人税等の支払額	△7,716	△9,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,941	△26,076
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15	△38
定期預金の払戻による収入	128	—
有形固定資産の取得による支出	△18,842	△14,122
有形固定資産の売却による収入	1,226	954
無形固定資産の取得による支出	△755	△632
無形固定資産の売却による収入	6	39
関係会社株式及び出資金の取得による支出	△84	△237
関係会社株式及び出資金の売却による収入	16	167
投資有価証券の取得による支出	△45	△1,223
投資有価証券の売却及び償還による収入	281	63
事業譲受による支出	△1,353	△1,243
長期未収金の回収による収入	4,727	4,467
その他	190	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,520	△11,660

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 12. 31)	当第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,364	17,396
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△6,196	30,800
長期借入れによる収入	101,281	12,885
長期借入金の返済による支出	△18,688	△27,039
社債の発行による収入	3,000	—
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
株式の発行による収入	—	17,462
配当金の支払額	△3,955	△3,417
少数株主への配当金の支払額	△282	△560
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	△7
その他	△112	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,680	27,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,627	819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,592	△9,504
現金及び現金同等物の期首残高	20,094	29,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,686	20,045

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「印刷インキ」、「ニューグラフィックアーツ」、「合成樹脂」及び「ケミカルソリューション」の4つを報告セグメントとしております。

「印刷インキ」は、印刷インキ、印刷関連機器・材料を製造販売しております。「ニューグラフィックアーツ」は、有機顔料、記録材料及び液晶材料を製造販売しております。「合成樹脂」は、合成樹脂、ポリマ添加剤を製造販売しております。「ケミカルソリューション」は、合成樹脂コンパウンド・着色剤、建材、包装資材、粘着製品、プラスチック成形品、エンジニアリングプラスチック、中空糸及びカラー&コンフォートを製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷インキ	ニューグラフィックアーツ	合成樹脂	ケミカルソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	305,693	53,359	111,210	114,058	584,320	3,286	587,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	51	27,781	8,131	510	36,473	—	36,473
計	305,744	81,140	119,341	114,568	620,793	3,286	624,079
セグメント利益	11,770	4,205	12,261	6,065	34,301	843	35,144

当第3四半期（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷インキ	ニューグラフィックアーツ	合成樹脂	ケミカルソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,131	18,327	37,317	38,048	193,823	710	194,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	8,818	2,862	133	11,817	—	11,817
計	100,135	27,145	40,179	38,181	205,640	710	206,350
セグメント利益	4,141	1,968	4,279	1,891	12,279	92	12,371



3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	34,301
「その他」の区分の利益	843
全社費用(注)	△3,052
四半期連結損益計算書の営業利益	32,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

当第3四半期(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,279
「その他」の区分の利益	92
全社費用(注)	△1,089
四半期連結損益計算書の営業利益	11,282

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(追加情報)

第1四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。なお、当該基準に準拠して作成した前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期のセグメント情報は以下の通りとなります。

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	307,432	49,888	95,919	104,216	557,455	2,507	559,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,008	22,778	10,621	581	34,988	—	34,988
計	308,440	72,666	106,540	104,797	592,443	2,507	594,950
セグメント利益	7,711	431	8,684	3,691	20,517	215	20,732

前第3四半期（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	112,632	17,572	32,831	36,348	199,383	718	200,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,163	4,680	131	12,974	—	12,974
計	112,632	25,735	37,511	36,479	212,357	718	213,075
セグメント利益	4,312	434	4,037	2,026	10,809	△128	10,681

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	20,517
「その他」の区分の利益	215
全社費用（注）	△3,496
四半期連結損益計算書の営業利益	17,236

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

前第3四半期（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	10,809
「その他」の区分の利益	△128
全社費用（注）	△1,144
四半期連結損益計算書の営業利益	9,537

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月1日付で公募増資を実施いたしました。また平成22年6月22日付で、みずほ証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期において資本金が8,731百万円、資本剰余金が8,731百万円増加し、当第3四半期末において資本金が91,154百万円、資本剰余金が88,758百万円となっております。